

日清食品ホールディングス株式会社
ランチョンセミナー LS4-3

腸内細菌と健康

日時：3月30日(水) 12:00～12:50

会場：D 会場(札幌コンベンションセンター 107/108会議室)

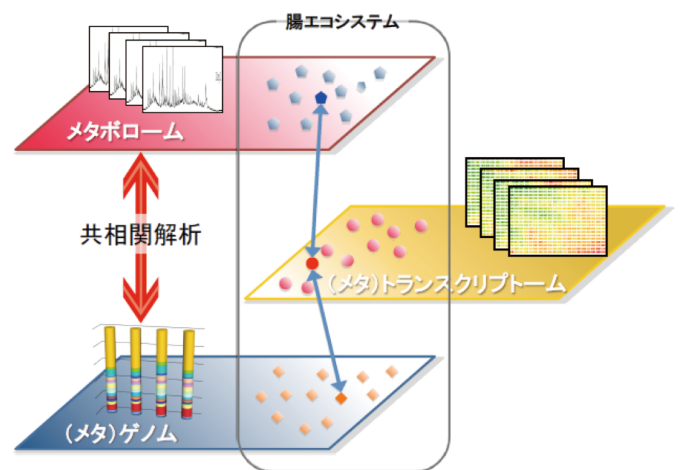
1. 腸内細菌と生体防御・免疫系ー統合オミクス手法によるアプローチ

大野 博司 先生

理化学研究所 統合生命医科学研究センター グループディレクター

腸内細菌叢は、多種多様な菌同士の相互作用により複雑な代謝系を形成するとともに、宿主との相互作用により「腸エコシステム」と呼ばれるユニークな環境系を構築し、ヒトの生理・病理に多大な影響を与えている。演者らは、ゲノム(DNAレベル)、トランスクリプトーム(RNAレベル)、メタボローム(代謝産物レベル)など異なるレベルの網羅的解析法を組み合わせた統合オミクス手法を提唱し、その有用性を示してきた。

本講演では、統合オミクス統合解析法の応用により得られた成果として、1) ビフィズス菌が産生する酢酸による大腸上皮細胞保護作用に基づくマウスの O157 感染死予防のメカニズム、ならびに、2) 腸内細菌叢が産生する酪酸による、エピゲノム制御を介した大腸制御性 T 細胞の分化誘導メカニズムについて概説する。



大野先生略歴

1983 年 千葉大学医学部卒業、1991 年 千葉大学大学院修了(医学博士)
1997 年～1999 年 千葉大学医学部 助教授、1999 年～2004 年 金沢大学がん研究所 教授
2002 年～2013 年 理化学研究所免疫アレルギー科学総合研究センター チームリーダー
2013 年～ 理化学研究所 統合生命医科学研究センター粘膜システム研究グループ グループディレクター

2. 乳酸菌 *Lactococcus lactis* T21 株の抗アレルギー作用

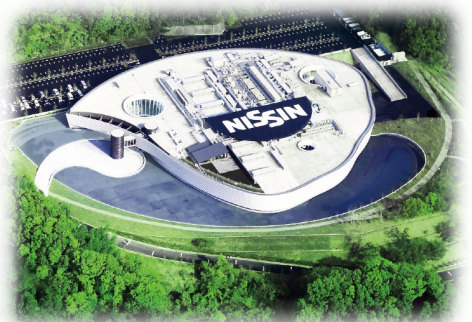
砂田 洋介

日清食品ホールディングス株式会社 健康科学研究部

弊社では免疫調節作用の強い乳酸菌 *Lactococcus lactis* T21 株を選抜しました。ここでは T21 株の鼻アレルギーに対する効果について検証した結果を紹介させていただきます。

司会：田辺 創一

日清食品ホールディングス株式会社 健康科学研究部



日清食品ホールディングス